

春日井写真同好会 第135回例会記録

平成22年7月13日13:00~14:30.

松寿会クラブ室

参加者 5名

青木・小林・福田・

松倉・村田

チョット寂しい例会でしたが

前回の雨で中止になった撮影会の流れのままで、紹介も少なくチョット寂しい例会になりました。



松倉さんから披露された中の一枚にデジカメ特有のプリントがありました。カメラが小さな花のどの箇所を捉えて測光したものか判らないという興味をそそる画像でした。スポット測光としか思えないものですが、松倉さんはそんな設定をしていないだろうと勝手に決め込んで……。

薬の部分の露出過度、背景の露出不足。オートなどで何の設定もしないで、このような小さな範囲でこんな画像になるというのが理解できず???

デジテクを使わずにこんな絵が撮れるのかと勉強の種ができました。

今ひとつ、主役交代で、この不思議な露出画像の中で、一匹のハチが新たな夢を見せてくれました。右のようにトリミングしてみました。

眩しく輝く花から生まれた一匹のハチが、闇の世界に向かって夢を運ぶといったディズニーの一齣のように見えました。



一枚の写真から色々なことを連想するのが好きで、こんな写真を見せて貰って楽しく思います。

松倉さんのいま一枚の画像。

久しぶりに綺麗にボケの効いた絵をみせて貰いました。それに偶然か意図的か知りませんが、蓮の花を斜めに捉えた構図がなんとなく新鮮で面白いと思いました。

何故か蓮の花というと決まったように、まっすぐ捉えたものが殆どですが、斜めに捉えた蓮の花に新鮮さを覚えました。

意図的に斜めに捉えたものか、広角一杯にしても二つの花が納まりきれずに仕方なくカメラを傾けたか。基本的にはカメラを斜めに構えるなど自制している私ですが、こればかりは前者であって欲しいと思う。昔の写真家の先生なら×か邪道というかも知れませんが。

斜めに構図を決めるのは、海辺で水着の美女を撮るときとか、人物を大写しで空に向かって斜めに俯仰して撮るときかなと思うほど希れなもので、これも構図について、一つ勉強のネタを頂戴しました。



村田さんの一枚。

グラフィック的な構図が眼を惹きます。

一寸残念かナと思われただろう思いますが、花托についた水滴がよく見えないことと、時刻の都合でしょうが、光が十分活かされなかつたと思われることです。

この花托の形は何に見えます。蜂の巣に似ていて「ハチス」が訛って「ハス」になったと聞いたことがあります。

一般に女性はどのような花にも好感を抱きます。ところが蓮の花 (ロータス Lotus) に関しては深層心理的に特に男性が惹



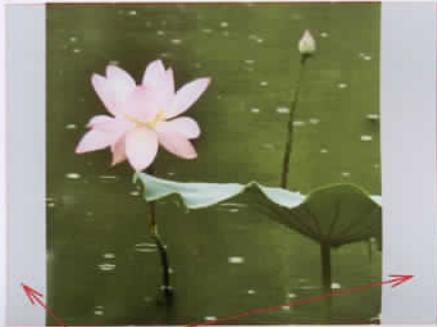
かれると言います。古代アジアからエジプトにかけての話らしいですが、その言い伝えについてはここに記せませんので、興味があればご自分で調べてみてください。それがアジアで進化して抽象的な仏と蓮の組み合わせになったのかなと思ったりします。

村田さんのいま一枚。

絵の要素の一つとして雨滴の渦に眼を惹かれたのだと思いますが、渦の広がりが小さくて残念でした。手前の葉の水滴も捉えようとしたと思いますが、これはチョット欲張り過ぎませんでしたか。失礼。

いつも進言させて戴いていますが、折角のデジカメなんですから、撮影時に広い目に四辺に余地を残した構図で撮っておくと、後で何とでもトリミングできる訳ですから、視点を換えて楽しめる絵を作れると思います。

例えば、仮に広い目に撮っておいて、後で右のようにトリミング(4:3)したとすると、スッキリして和の寂びを感じさせる絵を作ることができるので…といったことです。



* この部分を含めて撮っておく。

少々無理はありますが、水面と光ということに目を向けると左のような感じになるかなと思います。

いま若手のカメラマンを中心に商業写真が大きく進化しつつあるといわれますが、彼らの正道に囚われずエリアは広く写真展にもその延長で活動しているといわれています。



折角のデジカメなんですから、軽くラフに撮りまくって色々な視点・視覚で撮った絵を見てみませんか。
そして昔にはなかった新しい楽しみ方をしてみませんか。

次回、第136回の例会は

次の例会日は、通常では8月9日ということになりますが、暑い最中ですので例会を夏休みにしようということになりました。

村田世話人から「自由に撮って貰って9月の例会日に披露して戴きたい」ということでした。とは言え、この猛暑続きでは外出は命がけということになりますので…。

花火を追っかけて徘徊するのもよいかもしれません。聞いた話で確認した訳ではありませんが、手ぶれ補正機能の付いたデジカメなら、三脚がなくても手持ちで大丈夫ということですが…。

とはいって、ISOは1600なり3200なり、カメラの持つ最高のISOに設定しておきたいと思います。但し、ノイズは避けられないと思いますので、それを承知の上でということになります。

地域で開かれる盆踊りもいいかも知れません。できればフラッシュなしでスポット測光にして、人の顔で露出設定すると自然な感じの画が撮れると思います。ISOは400~800ぐらいに設定したいです。

聞いた話ですが、プールや海水浴場ではカメラの持ち込み禁止が殆どということらしくご用心を。ディズニー・オン・アイスは、今年はカメラOKになったそうで、楽しいと思います。

スケートはスピードがありますので、後ろの方の安い席で、望遠にして撮るのが一つの要領かと思います。距離があると、カメラを振る角度と角速度が小さくなりますので失敗が少なくなります。

本によりますと、最近のサービスエリアや道の駅には結構面白い画材があるとありますので、機会があれば注意して観察してみてください。



連絡は村田へ
0568-81-8283

とき 平成22年9月13日(火) 13:00
ところ 松寿会クラブ室

お詫び：お届けが大変遅くなり申し訳ございません。下肢の痛みでパソコンの前に座っているのが辛くて、気になりながらつい遅くなりました。深くお詫び申し上げます。（小林）